

沖繩作戰ニ於テ獨立速射砲第三大隊戦闘經過概要

昭和十五年三月二十五日

第三十五軍残務整理部

0355

部隊略歴

球中六四。三部隊
独立速射砲中三大隊

昭和十六年七月十七日

丸尾市 歩兵中百十二聯隊ニ於テ独立速

昭和十六年八月二日

射砲中三大隊ノ編成完結

同年 八月六日

坂出港出帆(香川県坂出市)
大津港上陸

同年 八月十二日

滿洲國海拉爾着

同年 同日

中六軍(滿洲中六。部隊)隷下ニ入ラシメラル

昭和十六年八月十日

海拉爾附近ニ在リテ滿ノ國境警備ニ任ズ

至昭和十九年六月十五日

~~動員命令~~

昭和十九年六月十九日

動員命令ヲ受テ海軍第一師團ニ歸ス

同年 六月二十四日

細井新駅出發

同年 六月二十八日

釜山到着

同年 六月三十日

釜山港出帆——曉堂丸

武部隊司令部

0356

昭和十九年十月十日

沖繩県外務課長

昭和十九年同日

第三十二軍隷下ニシテミミラニ

昭和十九年同日

第九師團ニ配屬ヲ命ゼラレ島尻地区ノ防衛

ニ任ス

昭和十九年十月十六日

第九師團ニ在リテ方面ニ轉進スルニ依^併テ

師團ニ配屬ヲ命ゼラレ前任務ヲ續行部隊

兵力配備計畫

主カヲ以テ小線附近ニ部ヲ以テ系統方面ニ

配備ス

島尻地区ニ於ケル陣地構築並ニ防衛ニ任ズ

昭和十九年十月十一日

昭和二十年二月二十七日

昭和二十年三月二十二日

沖繩軍用号戰務部下命ス

以下全部隊戦斗配備ニ付テ戦斗行動トナル

0357

戦斗経過概要

独立連射砲ヲ三大隊(砲六四。三部隊)

昭和二十一年四月

甲号戦備下令當時我大隊ハオ二十四師團ノ指揮下ニアリ
大隊主ク(砲)ヲ以テ小隊(砲)ヲ編成之ヲ町一筋長(一部)
ヲ以テ右端正面ノ防衛ニ任シアリ各々設陣地ニ
配備完了(附図其ノ參照)

昭和二十一年

總故米軍 嘉年約正面 平安山一梁江附近ニ上陸ス

昭和二十一年

中隊長ハ山中中尉之ガ要員ハ固有ノニ中隊ヨリ出ス(ハ22ノ)

配屬ノマラ平地附近ニ轉進 昔里北方ノ戦キニ参加ス

大隊本部ハ22ノ轉進ニ伴ヒ命令ニヨリ其地区(小隊正面)

昭和二十一年

防備隊本部トナリ在共地区部隊全都ヲ伴ヒ指揮シ

22ノ前任務ヲ承行ス

0358

五國和の口ニ

大和和の口ニ

五國和の口ニ

大隊ハ命令ニヨリSK山中山ノ配屬ヲ受ケ戰軍團

部隊ヲ編成首里井ノ轉送ハ一隊ニ歸ス

深ニ陣地ヲ占領進口連夜左右ノ敵軍軍ノ出撃ヲ破散ス

(附圖其ノ參照)

海ハ32ニ配屬ヲ命ゼラレ早良町前田石嶺附近ニ於テ

戦牛ニ參加

オニ三軍ノ攻勢ニキリ大隊ハ左側支隊長トナリ32ノ左側

背ヨリ攻勢前進黎明ヲ期シ前田ノ敵ニ突入ス特ニ

密ニ32ニ協力連續ト晝夜ニ互リ猛攻ヲ行ヒ多大ノ

出血ヲ強要セタル康ヨリ25日長ヨリ五月六日賞詞ヲ授

キアル(附圖其ノ參照)

別ニ海ハ32ト共ニ前田棚原ノ線ニ突入シ海ハ32ト共ニ

幸地翁長ノ線ニ突入各々配屬部隊トシテ多大ノ

戦果ヲ收メタリ

0359

八、昭和二〇、五一八、

九、昭和二〇、五一三、

一〇、昭和二〇、五一六、

一一、昭和二〇、五一六、

一二、昭和二〇、五一九、

大隊ハ山前線ノ配属ヲ解カシ、中ノ配属ヲ受ケ、32右チ線

大隊トナリ、前田一平良町前ニ縱深陣地ヲ占領、持久戦ヲ續

行、敵南下ノ銃聲ヲ連日敵推ス、附回共ニ参照

部ノチ一小隊(右瀬小隊)ハ、後ノ配属部隊トシテ、軍司令部

ヨリ、威嚇ヲ授ケサル

部ハ、初ニ配属ヲ命ゼラシ、右嶺西側斜面ニ於テ、対戦車

戦車ニ参加

大隊主力ハ、部配属ノモ、32ニ配属被セ、戦車出首

里北方一五〇米無名高地(附車一輛)轉進一五〇高地、右嶺

附近ノ戦車戦車ニ参加

大隊主力ハ、同32ニ配属セシメラシ、部ヲ作セ、指揮シ

一五〇高地戦車出首、右嶺ノ線ニ於テ連日連夜敵ノ猛攻ヲ

奮退、五月二十日、連日連夜ニ甚大ナル損害ヲ受ケ、子ヘソリ

部ハ、32ニ付スル配属ヲ解カシ、大隊ニ復帰、戦車出首ノ戦車

0360

ニ參加此ノ討大隊ハヨク長ヨリ克ク長期ニ及リ首軍ノ退却ヲ
確保ス大ノ出血ヲ強要ニタル廉ヨリ賞詞ヲ授ケサル

(附圖其ノニ參照)

一三 砲兵ト共ニ退却者圍石嶺ノ邊過リ克ク確保セル廉

ニヨリ一三 砲兵部隊トミテ軍司令官ヨリ賞詞ヲ授ケサル

一四 長官轉進ニ伴ヒ一三 砲兵ハ甲ビズルニ配屬セシメラル

一五 一軍ノ島尻南部轉進ニ伴ヒ國吉ニ轉進ス

一六 一軍ノ島尻南部地区轉進ニ當リ大入隊ハ之ハ援護ヲ

命セラレし首軍地方戰事ハ首軍若クハ五。本ニ於テ孤軍奮

斗スルコトニ置被敵ニ甚大ナル大打撃ヲ与ヘタルモ我ガ

力ノ損害モ又大ナリモ附圖其ノニ參照

一七 大隊ハ國吉ニ集結完了。同日附リ以テ撤退ニ大隊

ハ解散ヲ命セラレし一三 砲兵ハ一三 砲兵ハ一三 砲兵ニ各々編入ヲ命

ジラシ一軍最後ノ總攻撃友方一線タル糸満照屋國吉

一六 附圖其ノニ參照

一三 砲兵ト共ニ退却者圍石嶺ノ邊過リ克ク確保セル廉

ニヨリ一三 砲兵部隊トミテ軍司令官ヨリ賞詞ヲ授ケサル

一四 長官轉進ニ伴ヒ一三 砲兵ハ甲ビズルニ配屬セシメラル

一五 一軍ノ島尻南部轉進ニ伴ヒ國吉ニ轉進ス

一六 一軍ノ島尻南部地区轉進ニ當リ大入隊ハ之ハ援護ヲ

命セラレし首軍地方戰事ハ首軍若クハ五。本ニ於テ孤軍奮

斗スルコトニ置被敵ニ甚大ナル大打撃ヲ与ヘタルモ我ガ

力ノ損害モ又大ナリモ附圖其ノニ參照

一七 大隊ハ國吉ニ集結完了。同日附リ以テ撤退ニ大隊

ハ解散ヲ命セラレし一三 砲兵ハ一三 砲兵ハ一三 砲兵ニ各々編入ヲ命

ジラシ一軍最後ノ總攻撃友方一線タル糸満照屋國吉

一八四四年。六月二日。

兵部省。八月九日。

真盛ノ敵ノ回軍ヲ命セラル

爾後同地附近ノ攻戦ニ参加全員壯烈ナル戦ハ戦斗

ヲ果日連夜進行セリ(此因事ノ事ニ参照)

如及可取属部隊ニ対シ軍司令官ヨリ威快ヲ授ケル

軍司令官ノ自決待ラルル爾後軍司令官ノ訓示ニ基キ

國軍既故陣地ニ於テ連日連夜遊軍ヲ展露す

終戦ノ一途ニ

大敵ハ終戦ノ一途ニ莫クナリ知リ全員

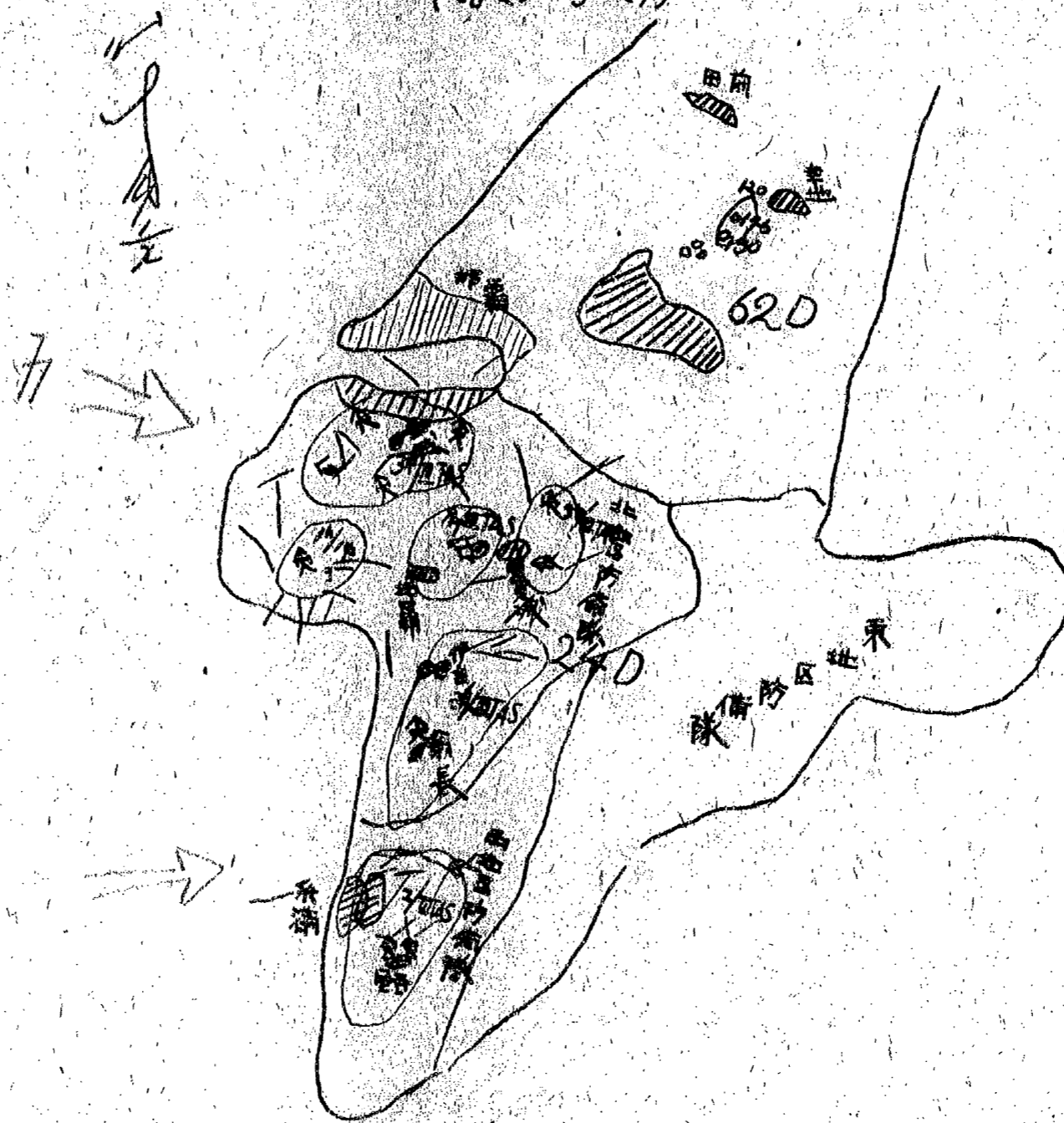
集結(總員三十五名)火砲兵器、彈藥ヲ爆碎シ

死長ト共ニ木軍ノ柳留ニ處ケ

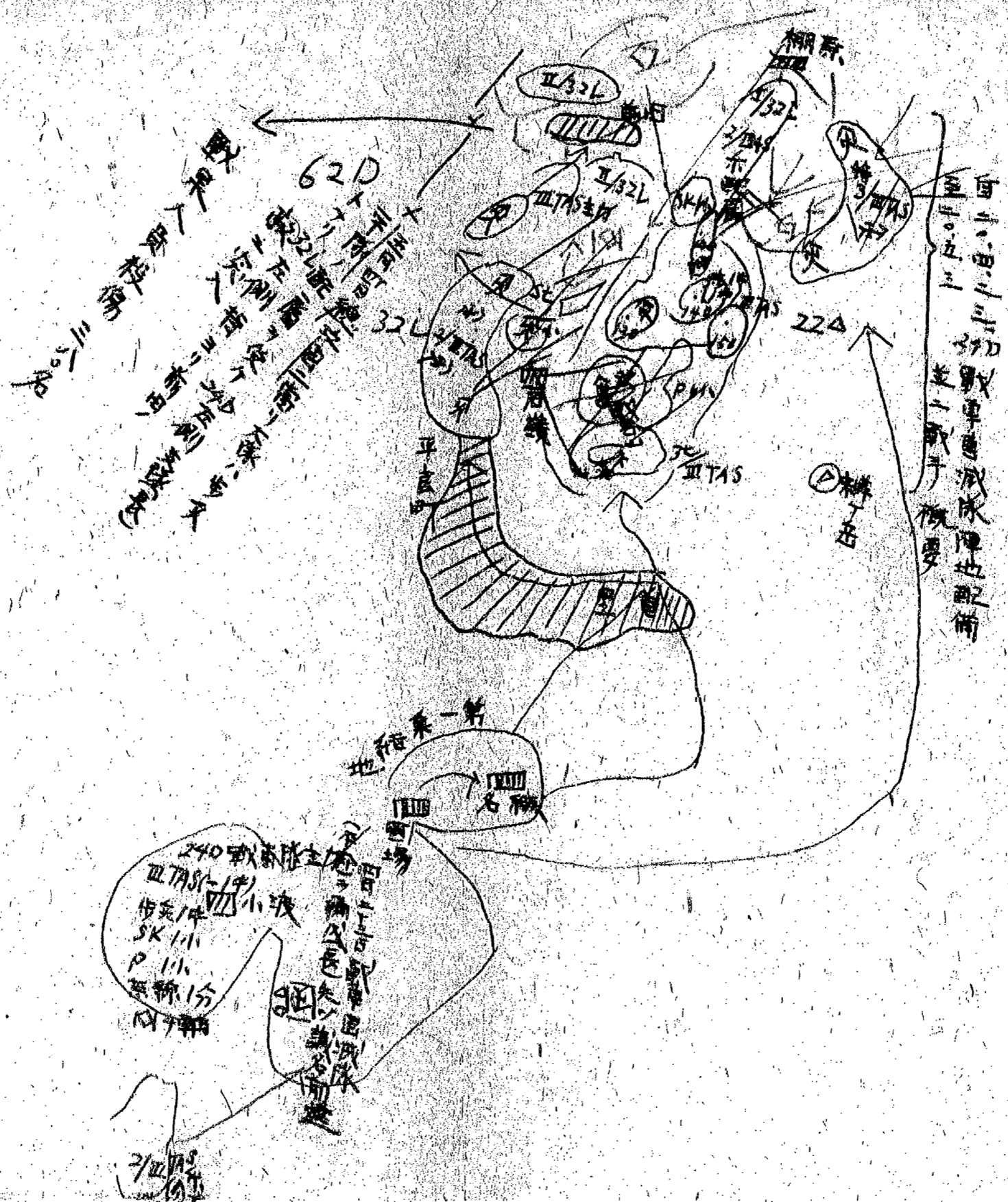
0362

附圖其一

III TAS 障地配備 概要図
(88 20 3 24)



0363



附圖其之二

III TAS
 戦軍直隊隊(戦平概要図)

戦果
 本欄に於ては戦平概要図に
 示す戦果を記す

0365

7 TABMS

0366